

ますだ通信



愛知県議会議員 ますだ裕二 中区選出

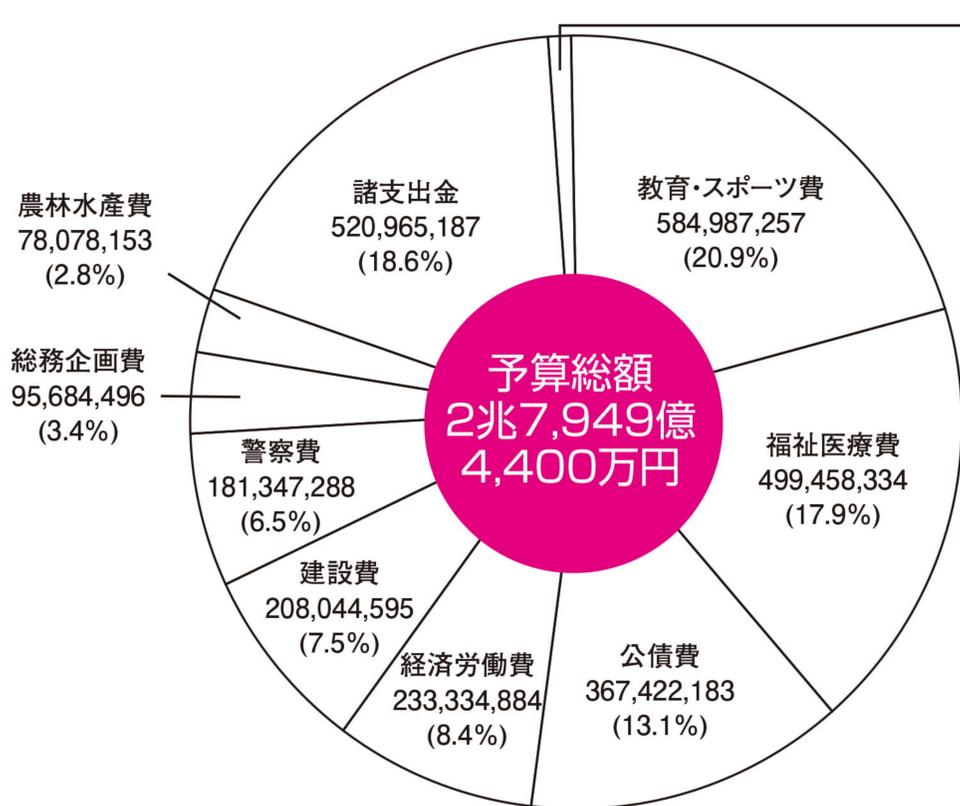
愛知県議会 警察委員会委員長

子ども子育て調査特別委員会 常任委員

～令和6年～
夏号

2月定例議会に於いて本年度予算が成立しました。

目的別歳出の状況(一般会計) (単位:千円)



その他	25,621,623	(0.9%)
議会費	3,340,129	(0.1%)
県民環境費	18,797,549	(0.7%)
災害復旧費	3,183,945	(0.1%)
予備費	300,000	(0.0%)

一般会計 2,794,944,000

特別会計 1,325,056,161

企業会計 222,739,694

合計 4,342,739,855

2月定例議会に於いて議案質疑をさせていただきました。

Q 今年度補正予算でも、愛知県保証協会のゼロゼロ融資を受けた事業者から回収不能になった債権のうち、約1部に当たる約5、300万円が県費負担となっている。これ以上、県費負担を増やさないためにも、コロナ禍から業況の回復していない事業者を支援していくことは喫緊の課題である。そこで、資金繰り支援「サポート資金【コロナ借換】」とあわせて専門家のサポートによる経営支援と両側面から支援策を講じていかななくてはならないと思うが、愛知県としてどのように取り組んでいくのか。

A 愛知県信用保証協会では、経営改善に努力している事業者を支援するため、事業者と取引金融機関、保証協会が一堂に会する「経営サポート会議」を必要に応じて開催し、経営改善計画の合意形成に向けた情報共有や意見交換を通じて、最終的には借り換えや条件変更等の金融支援の実行につなげる取組を行なっている。

また、あいち産業振興機構には、金融機関OBを始め様々な経営課題に対応する専門家を配置した無料の相談窓口「エキスパートあいち」を設置しているが、今回のご指摘を受けて一層の利用促進を図っていく。



県政の相談・地域のお困りごと相談は

愛知県議会議員 ますだ裕二事務所

〒460-0012 名古屋市中区千代田4丁目17番8号 千代田ビル2階
TEL:052-324-3947 FAX:052-332-5684



《公式ホームページ》



橘小学校が愛知県金融広報委員会より 令和6・7年度金融・金銭教育研究校として指定されました

金融・金銭教育研究校とは…

金融・金銭教育研究校は、幼児・児童・生徒それぞれの発達段階に応じて、金融・経済に関する正しい知識の習得やお金やものに対する健全な価値観の養成を図ることを目的として、具体的な教育を実践し、研究に取り組む小中高等学校です。金融、経済に関する正しい知識の習得に力点をおくものを「金融教育研究校」、金銭や物に対する健全な価値観の商養に力点をおくものを「金銭教育研究校」としています。

橘小学校に於いて交付式が行われました



金融教育は、お金を手がかりに授業を進めることによって、子供たちは生活や社会に関わる知識や物事をより具体的に把握し、より深く理解することができます。また、課題の発見や解決に取り組む上でも、問題をより身近なものとして捉え、他人事ではなく自分の問題として、現実に即し、自分なりに工夫し、判断し、行動する力を養うことができます。

このように、金融教育は子供たちに、現実の生活や社会に足場を置いてしっかり考える力を身に付け、たくましく生きる力をひろげる上で大きな利点をもっていると思われます。

名古屋市内で初めての研究校

成人年齢が引き下げられたことにより、18歳、19歳が金融トラブルに巻き込まれる事例が散見されることから、金融教育は高校生から義務化されましたが、本来はもっと早い段階から教育されることがいいとされています。名古屋市中区は、名古屋城築城の際に職人が集められた地域であることから、現在でも多くの職人やそれを生業としている人がいます。このような、地域の産業がどのように成り立っているのかを考えていくのも金融教育に通ずるものがあります。また、特殊詐欺被害が多い地域であることから、この地域で金融教育を行っていくことは大変有意義であると考えます。新たなモデル事業となることに期待したいと思います。



【愛知県議会議員 ますだ裕二】



このQRコードの上に
スマホをかざして読み取ってください！

LINEで情報発信！

県政に関する大切な情報をお届けしてまいります。



愛知県議会議員 **ますだ裕二**